

2004年度協働事業提案 調整記録

1. 提案事業	市民主体の（仮称）市民活動センター運営事業
2. 日時	7月8日（木） 15:00～16:00
3. 場所	大和市役所会議室棟203会議室
4. 参加者	提案者 大和市民活動課市民活動支援担当（北島、鈴木） 提案対象者 拠点準備会（小杉リーダー、間瀬副リーダー） 推進会議委員 河崎民子委員、藤田高恵委員 市事務局 市民活動課（井東）

【調整協議の主な内容】

市民活動課

- ・市民活動の拠点を作るために、これまでも市民の方と協働してきた。広がりをもたせていくためにも提案した。
- ・推進会議の拠点部会 ワークショップ 拠点準備会 運営委員会（今後）というように協働を広げてきた。また、今後センターの床はり作業を準備会メンバーと市で行うことになっているし、センターの塗装についても、塗装協会のボランティアによる。
- ・これからも、協働として進めていきたい。

推進会議委員

- ・行政提案でも、N013 男女共同参画に関する市民意識調査とは異なる性質のものだと感じている。
- ・これまで協働で進めてきた経過は理解している。
- ・行政提案が協働事業となるためには、全ての市民の方に納得のいく説明ができないといけない。そのために、このセンターが何を担っていくか、何を目指していくかはっきりさせなくてはならない。
- ・問題点としては、ニーズ調査の必要性が拠点準備会の中でも出ている。
- ・今ある、福祉系市民団体でも保健福祉センターを利用し、拠点に移ることを考えているところは少ないようだ。ただ、市民活動団体同士が、共に育ち合っていく場としてセンターを活用していくべきだと考えている。（会議室、ロッカーの貸し出しだけがセンターの役割ではない）

準備会メンバー

- ・新しく立ちあがろうとしている団体が利用しやすくすればよい。そこにニーズがあると考えている。

市民活動課

- ・基本的な役割分担については、提案書で書かせていただいている。

推進会議委員・拠点準備会

- ・これまでの経過を考えると、センターが何を目指すかということから、様々なセンター開設準備まで協働作業で行われてきており、役割分担も明確に分けにくいのではないか。

【確認事項】

- ・協働推進会議としては、協働事業として進めていくことに賛成。
- ・これまでも協働して進めてきた経緯をしっかりと説明し、市民の皆さんに納得していただくことが必要。

(記録者：市民活動課 鈴木)